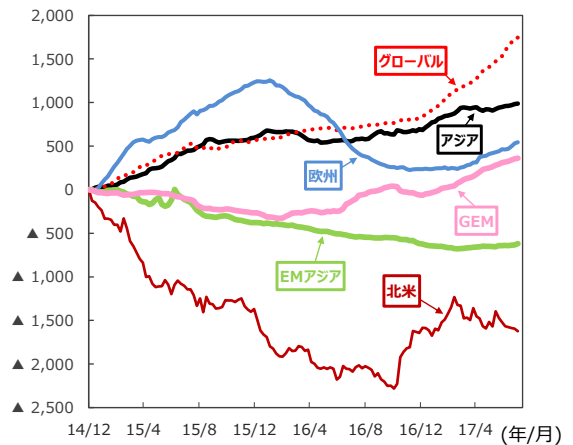


今日のトピック 世界の「投信マネー」 株式への流入が拡大、債券は北米中心の流れが続く

株式はグローバル、欧州、アジア、GEMへ流入

- EPFRグローバル(注1)で世界の「投信マネー」の17年7月の動向を見ると、株式ファンドは298億ドル(6月268億ドル)、債券ファンドは330億ドル(同358億ドル)と株式ファンドの流入超過額が拡大しました。
- 7月の株式ファンドは先進国全般に投資する「グローバル」が214億ドル、「欧州」が79億ドルの流入超となりました。アジアは日本を含む「アジア(注3)」が39億ドル流入超、「新興国アジア(EMアジア)(注4)」も同21億ドルの流入超となり、アジアへの流入超過額は60億ドルとなりました。「GEM(注5)」も50億ドルの流入超でした。
- 「北米」は4カ月連続の流出超となりました。

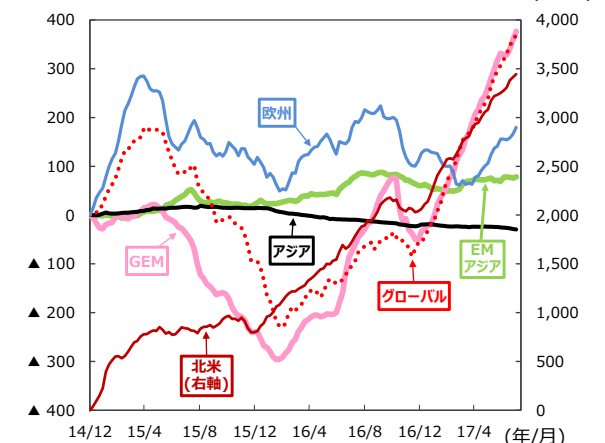
【主要地域別株式ファンドの動き】



債券は北米中心。グローバル、欧州、GEMにも流入

- 債券ファンドは「北米」中心の流入超に変化はありません(7月192億ドル)。ただ、先進国全般に投資する「グローバル」が同62億ドル(前月69億ドル)、「欧州」も同24億ドル(前月49億ドル)と流入超過額が縮小しました。日本を含む「アジア」は同4億ドルの流出超と2カ月連続の流出超でした。
- 新興国では「EMアジア」が同10億ドルの流入超に転じました。GEM(同45億ドルの流入超)が中心ですが、新興国市場にも資金が流入しています。

【主要地域別債券ファンドの動き】



米国社債への資金流入は継続する見込み

- 米国の金融政策の正常化はゆっくりとした速度で進む見込みで、米国債利回りの上昇は抑えられと考えられます。長期金利の水準が低位であれば、米国社債の相対的に高いクーポン(利息)の魅力は続くと考えられ、米国社債への資金流入も継続しそうです。

(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年6月末現在29.2兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
 (注2) データは2014年12月～2017年7月、週次ベース。2014年12月からの累計。
 (注3) 「アジア」は豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール、日本。
 (注4) 「新興国アジア(EMアジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
 (注5) 「GEM」はGlobal Emerging Markets(世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック! 2017年8月 2日 ユーロ圏経済と通貨の動向(2017年8月)
2017年7月25日 良好な米国の社債市場(2017年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。